

KMU 図書館だより シトラス (Citrus)

-CONTENTS-

・図書館員からの蔵書紹介

祝！2025年ノーベル生理学・医学賞



大阪大学特別栄誉教授の坂口志文先生(免疫学フロンティア研究センター特任教授)が免疫反応の暴走を抑える制御性T細胞の研究で2025年ノーベル生理学・医学賞を受賞することに決まりました。図書館では、この快挙を記念して、現在、企画展示コーナーにおいて、関連分野の本を展示しています。この機会に是非ご利用ください。



①



②



③



④

①『免疫の守護者：制御性T細胞とはなにか』

坂口志文, 塚崎朝子著/講談社/2020年/請求記号QW568||Sa28

制御性T細胞の発見とそのメカニズムが解明されていく過程がわかり、**坂口先生の研究への姿勢が追体験できる科学エッセイです。**

②『新しい免疫入門：免疫の基本的なしくみ』第2版

審良静男, 黒崎知博, 村上正晃著/講談社/2024年/請求記号QW504||A36||2ed

免疫学を学ぶとき、はじめに読む本として定評のあった本の10年ぶりの改訂版。病原体から体を守る免疫の基本的な流れを理解できます。

③『がんと免疫：がん免疫療法のメカニズム解明と臨床への展開』

坂口志文, 西川博嘉編集/南山堂/2015年/請求記号QZ266||Sa28

坂口先生が編集に携わった医学書です。外科的療法、化学療法、放射線療法に続く、第4の治療法として注目される免疫療法の歴史と研究進捗について、まとめられています。

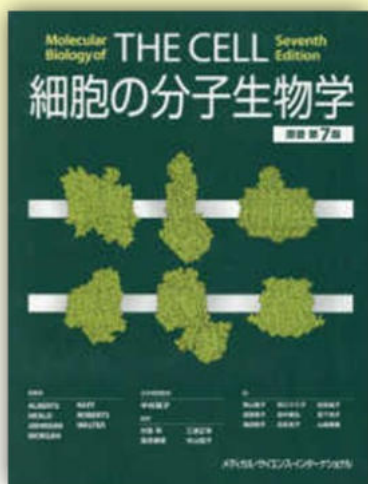
④『小説みたいに楽しく読める免疫学講義』

小安重夫著/羊土社/2022年/請求記号QW504||Ko97

著者は、新型コロナウイルスやワクチンに関連し、小学校や中学校でも授業をしており、**複雑に見える免疫がわかりやすく著述されています。**

◉学生用指定図書コーナーにもある◉
免疫学に関連する基本書

【生物学-C】【生化学-A】



【免疫学-B】【生物学-C】



◆『細胞の分子生物学』原書第7版

Bruce Alberts [ほか] 著；青山聖子 [ほか] 訳/メディカル・サイエンス・インターナショナル/2025年/
 請求記号QU300||A41||7ed

分子生物学のバイブル“Molecular biology of the cell”第7版の翻訳本。「第24章 自然免疫と適応免疫」に免疫関係の記載があります。

◆『Janeway's 免疫生物学』原書第9版

Kenneth Murphy, Casey Weaver著/南江堂/2019年/請求記号QW504||J21||9ed

免疫学の定番テキスト“Janeway's immunobiology”第9版の翻訳本。



他にもいろいろと展示

KMU 図書館だより シトラス(Citrus)

2025年11月 第22号 発行

編集・発行 金沢医科大学図書館

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1

TEL : 076-286-2211 (内線22804)

FAX : 076-286-6664

e-mail : library@kanazawa-med.ac.jp

図書館開館時間のご案内 (利用時間)

図書室・閲覧室の利用

月曜日～土曜日 7:00～24:00

レファレンスカウンターのOPEN時間帯

月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:45

Webサイト <http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~library/index.htm> (イントラネット学内限定)

<https://lib.kanazawa-med.ac.jp/drupal/> (インターネット)

◆図書館だよりのネーミングのシトラス(Citrus)は、金沢医科大学の校章由来の「橘」にちなんでいます。

◆本学の学生、教職員の皆さんの学修、研究、診療に役立つ図書館に係る情報をお知らせする不定期の逐次刊行物です。

◆お気づきの点やご意見等がございましたら、何なりと図書館までお寄せください。